ホームページ

心豊かな人づくり　元気あふれる町づくり
市民の絆をつなぐ公民館活動

きずな

題字 小松市長 宮橋 勝栄

編集発行
小松市公民館連合会
〒923-0303
小松市島町カ 20
(0761)43-3552
komatsusikouren
3552@gmail.com
発行責任者　中屋　幸夫

第68回 小松市公民館大会 開催

令和6年度 小松市公民館大会は、12月8日(日)午前9時30分より第一地区コミュニティセンターで開催しました。

中屋会長より**「今、公民館も時代に沿った組織体制が必要」**との挨拶の後、優れた活動をした公民館や、長年公民館活動に励んだ功労者・優良職員に賞状を手渡しました。

その後、宮橋勝栄市長より**「能登半島地震の発生により、公民館活動にも大きな影響があり、改めて公民館の大切さを感じた。今後、より良い地域活動を目指すチャレンジをしてほしい」**。

新田寛之議長より**「公民館は身近な地域の拠所であり、コミュニティと学びの場として、更に発展していくことを願う」**との祝辞を頂きました。

山本民夫教育長、岡山晃宏福祉文教常任委員長、建部磯香ＦＡＶＯ南加賀版編集長が来賓として出席されました。

（月津校下公民館 山路館長 実践発表）

式典後の実践発表では月津校下公民館より**「月津校下 史跡・遺跡巡り教室のあゆみ」**と題し、ふるさと文化再発見事業として行っている史跡や遺跡の発掘調査の解説と、地域の子ども教室の一環としても取り組んでいるとの発表がありました。

（南出あけみさん）

（山本博之館長）

アトラクションは、粟津校下公民館長の山本博之&南出あけみによる「ギター&ピアノのデュオ」。懐かしき歌謡曲を披露していただきました。

記念講演は、『小松っ子を育てる市民会議』との合同開催とし、辰巳議長挨拶の後、山本民夫教育長より記念講演**『これからの学び～新時代に向けて～』**と題し、人間力を育てることの大切さや、地域の公民館で一緒に活動することで人生を豊かにする力を育ててほしいとお話していただきました。

（山本教育長講演）

受賞者一覧

優良公民館表彰
国府校下公民館

特別功労者表彰
木原　浩二（符津校下）

功労者表彰
西木　裕一（稚松校下）
橘　靖久（上本折町）
澤川　喜博（串校下）
田井　哲哉（白山町）
小田原　成人（月津校下）
今森　達也（稚松校下）
山田　敏朗（長崎・坊丸町）
岡田　直樹（犬丸校下）

優良職員表彰
滝ケ浦　啓介（佐々木町）
早瀬　佐俊（波佐谷校下）
坂下　隆行（佐々木町）
藤伊　滋（粟津町）
坂田　浩幸（金野校下）
西出　雅博（日吉町）
海老　邦洋（湯上町）
北山　隆（苗代校下）
柏田　整治（扇原町）
高野　一也（林町）

大会の様子は、**小松市公民館連合会ホームページ**にて**配信**しています。

館報紙(誌)コンクール表彰

（応募総数　26誌）

最優秀賞★
『広報みのわ』
蓑輪町公民館

優秀賞★
『東陵』
東陵校下公民館
『広報わかすぎ』
若杉町公民館
『湯の郷あわづ ジャーナル』
粟津町公民館

奨励賞★
『一里塚』
串茶屋町公民館
『かわら版れんだいじ』
蓮代寺校下公民館
『シマにこにこ便り』
島町公民館
『ふるさと』
一針町公民館

審査員特別賞★
『紅梅』
長谷町公民館

審査講評（建部審査委員長）
切り口や見せ方を工夫し伝える事は重要です。今後も、自分の住む『地域』に自信と興味、関心を持って館報誌づくりに取組んでほしい。
思いを込めて作ったものは必ず相手に届きます。

館長・主事合同視察研修

日時　10月20日（日）
参加　21名

本年度の主事会視察研修は、小松市外の施設をめぐる事で他の地域の活動や取り組みを学ばせて頂き、自分達の地域に持ち帰り公民館の活動に活かす目的で実施しました。今年は小松市のバスが使えず、レンタカーでの開催となりました。今回は、館長にもお声掛けし、各館長との交流を深める良い機会となりました。「にぎわいの里ののいちカミーノ」は、公民館施設に加えて市民活動センター機能を併せ持った複合施設で様々なニーズに対応できる施設でした。「学びの杜ののいちカレード」は図書館をメインにした、公共文化交流施設でした。「トレインパーク白山」や「石川県立図書館」も見学しました。ここ数年は市内をめぐる視察でしたが、今年は少し趣向を変えて実施しました。

主事会長　道券　聡

ブロック研修

東南部ブロック

「松東地区の災害時についての防災知識を学ぶ」

日時　11月10日（日）9時
会場　市立松東体育館　研修室
参加　40名
講師　小松市防災士の会（顧問）山本政廣　氏

今回、能登半島地震及び豪雨などの災害に伴い研修会を開催。
最新版のハザードマップにより松東地区の各町内区域の浸水地域を理解し、①服装は夏でも長袖服・長ズボン・ズック・ヘルメット着用②必ず1日分の食料を用意③避難所までの経路がどんな状態であったかを覚えておく等の要点など参加者の理解度を高める事が出来ました。防災訓練を重ねていく事で地域の方々一人一人の自主防災意識が高まる事が最も大切ではないかと思わせて頂く事が出来、有意義な研修会になりました。

南部ブロック

「南部地区の遺跡からわかる南部の歴史・探訪」

日時　11月24日（日）13時半
会場　市立南部公民館　視聴覚室
参加　27名
講師　市埋蔵文化財センター　村上昂之　学芸員

研修会では、人類が狩りにより集団生活を始めた2万年～1万5千年前の話から始まり。地球温暖化により木場、粟津校下辺りまで海が迫っていた南部地区は、その後の寒冷化により、今江潟、木場潟、柴山潟の加賀三湖が出現し月津台地を中心に三湖の周辺で定住がはじまり、大陸から伝わった稲作が始まります。
また、木場や粟津地域は三湖を利用して安宅から日本海に抜ける水上交通が盛んになり、やがて飛鳥時代にはこれを利用した製陶業や製鉄業が蓮代寺・木場、そして粟津・那谷・江沼地域に広がっていきました。
安宅湊からは人や文物、技術が行き来し、加賀国の長官を務めた国司も都からの行き来に使用したとのことでした。
南部地区は、遠く古代の昔から加賀三湖などの豊かな恵みをうけた定住が進むとともに、その周辺では製鉄や須恵器製造など「ものづくり」の産地として栄え、今の小松発展の礎をしっかり固めてきたとの思いを強くしました。

ブロック研修

西部ブロック

近年の安全保障環境と災害派遣活動

日時　11月26日（火）19時
会場　日末会館
参加　30名
講師　航空自衛隊第六航空団副司令
　一等空佐　今井 勝文 氏

今年度日末校下で西部地区研修会を開催するにあたり、日末校下らしい題材は何かと館長と打ち合わせをしたのですが、ものの10秒で「自衛隊だ！」と意見が一致し航空自衛隊小松基地より今井副司令にお越しいただき研修会を開催いたしました。

現在の我が国を取り巻く環境や小松基地が担う業務の内容などの説明の後、元旦に発生した能登半島地震、９月下旬に発生した能登半島豪雨災害における災害派遣活動の説明を受けました。

報道されない舞台裏のお話や今後の課題など最前線でしか分かり得ない貴重なお話を聞くにあたり自分達がいかに自衛隊に守られ助けられているかを再確認しました。質疑応答でも多くの質問が飛び、学びの多い有意義な研修会となりました。

北部ブロック

「酒蔵見学」

日時　11月30日(土) 13時半
会場　株式会社 加越　加越酒造
参加　6名

今年の北部ブロック研修会は、加越酒造の初しぼり酒蔵見学を計画しました。

安宅校下公民館 東館長の元職場ということもあり、話はスムーズで快く引き受けてくださいました。

参加者は６名でやや少なかったですが、お酒作りを詳しく学び充実した内容でした。蒸米に麹菌を付けて、麹菌が米のでんぷんをブドウ糖に分解する(糖化)、酵母を加えてブドウ糖をアルコールに分解する(発酵)経て日本酒ができること、醸造酒では日本酒がアルコール濃度が一番高い事などを教えていただきました。初しぼりで搾りたてのお酒の試飲、酒粕の詰め放題、お土産にお酒も頂きました。社長からは『宴たけなわ』の意味も教えて頂き、今度宴会で使おうと大変有意義で楽しい研修会となりました。

酣(たけなわ)の字は、酒に甘いと書き、お酒が発酵する工程で甘さが増していく工程を表している。発酵する時にはじける音とだんだんと甘くなっていく過程を宴会などに置き換えて、会話が盛り上がりめいめいが楽しんでいる状態を指す。

中央ブロック

「飾り寿し講座」

日時　12月14日(土) 10時
会場　芦城センター
参加　17名
講師　料理研究家　仕平 幹子 氏

子どもにも、大人にも喜ばれる飾り巻き寿しを自分で作ってみよう～をテーマに料理の講習会を開催いたしました。講師の先生は、ご自分の教室や北國新聞文化センター講師を務める傍ら食の探求心も熱く、マヨ1グランプリ準優勝という経歴もある方です。ユニークな話術で、参加者も楽しく意欲的に取り組めました。先生はここ近年の日本人の米離れに注目もされており、お米を食べる大切さをお話しくださいました。４班に分かれ、それぞれが自分の飾り巻きずしに挑戦しました。また、巻きずし以外に肉じゃが・しめ鯖の和え物にも挑戦しました。

男性が多く参加された講座でしたが、皆さん手際よく上手に作業されておりました。町館や家庭でも作って頂きたいと思いました。

東部ブロック

「人と人とのつながり」

日時　12月21日（土） 13時半
会場　東陵会館
参加　32名
講師　大川町西照寺僧侶　日野 史氏

講師の史さんは姉の直さんと「ひのう姉妹」としてユニットを組み全国規模で活躍するミュージシャンとしての顔を持ち、法話ライブ等で忙しい日々を過ごされています。自身が代表を務めるこまつこども食堂では市内九か所で展開し、寄付で集めた食材をシェアしロスがロスを生まないようにSDGｓで取り組む活動を紹介してくれました。また能登地震災害ボランティアとして何度も能登に足を運び苦労した実体験を話していただきいろいろと参考になりました。本業である法話では、「生・老・病・死」生まれて老いて病気になり死ぬという事と「無・有・代・者」誰も私の代わりにはなれないという話をされ、「生きるって?」苦悩する人生を生きる事と説かれました。「あなたの本当に大切なモノは何ですか？」と参加者に問われていました。大変考えさせられる法話でした。最後にアンパンマンの歌詞で法話を締めくくられました。史さんの熱弁に参加者全員の心が熱くなり、元気とやる気と何よりも、生きる気力をいただいた講演でした。

公民館めぐり

第一校下公民館

館長　南出　正晴

第一校下は11町で構成されています。毎年恒例の行事として、各町対抗・各年代別の球技大会を開催、秋には昨年64回を迎えた第一校下スポーツ大会を開催しており、通学路安全確認も併せ、自宅から第一小学校まで徒歩で参加してもらうことが定着しています。また、秋にはもう一つ第一校下文化祭ふれあい祭りを開催しており、昨年39回を迎えました。文化祭では各町独自の模擬店や展示物、また各種団体のステージ発表等で賑わっております。

また、小松市民スポーツ大会では、多くの選手団を派遣しており、男女アベック総合優勝を通年目標に掲げ校下内アスリートの発掘・育成に取組んでおります。

この素晴しい地域の公民館活動に誇りを持ち、地域の和がさらに広く永く続くことを願います。

若杉町公民館

館長　小松　康弘

若杉町公民館は【町民の憩いの場・交流の場】として町民や各種団体に会館を開放しています。『町内運動会』『町内文化祭』をメインに、春には公民館から憩いの森まで、ゴミを拾いながら自然を満喫する『歩こう会』、お盆に開催される『夏祭り』などあります。また、アメシロ消毒などの害虫駆除を行い、住みやすい環境づくりにも貢献しています。事業の中でも特にメインの『町内文化祭』は、焼き鳥・焼まんじゅうなどの『模擬店』をはじめ、町民の皆さん自慢の『作品展示コーナー』や、『竹細工コーナー』『将棋大会』など。午後からは保育園児年長による『歌と踊り』を皮切りに、小学校５・６年生や町内の有志による演目、若杉合唱の会の『合唱』などがあり、演芸の締めを飾る公民館役員による『劇』は、【笑いと感動】で毎年大いに盛り上がっています。

これからも【町民の憩いの場・交流の場】として、多くの町民が気兼ねなく参加し、楽しんでもらえる行事をしたいと思っております。

また、公民館行事を通して町内がより一層活性化し、盛り上がっていければ良いと思っております。

市立板津公民館

館長　前川　富男

市立板津公民館は、板津地区（犬丸・荒屋・能美の３校下）にある生涯学習センターです。板津地区体育館内に事務所があり、講座の教室は研修室と体育館です。

令和７年度は12の講座を開催します。研修室では「ガーデニング」「脳トレ英語」「俳句を楽しむ(新)」「書道」「水彩画」「水引」「ペーパーフラワー(新)」の趣味教養講座、体育館では「健康太極拳」「らくらくエアロビクス」「リラックスヨガ」「リフレッシュ体操」「リズムダンス(新)」の健康講座などです。

テレビで人気の俳句教室など新しい企画を取り入れながら、生涯学習に相応しい息の長い講座づくりをめざしていきます。

受講されている皆さんの誰もが生き生きと楽しんでおられ、職員が元気をもらっています。

人物クローズアップ

①　公民館在籍年数
②　趣味
③　好きな歌手・歌（心に残る曲）
④　尊敬する人物とその理由
⑤　公民館活動に一言

芦城校下公民館　館長　池田　辰雄

①　校下公民館　館長　４年
　公民館在職年数　37年間
②　野球・ソフトボール・スポーツ観戦
③④　松山千春「大空と大地の中で」
山本五十六「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」は昔から模範としている名言
⑤　団塊の世代が後期高齢者へ突入した現代、見守りが必要な高齢者同様、元気な高齢者も増えています。こども園・小学校・中学校の子ども達との交流を増やしていく企画・活動が必要

市立稚松公民館　主事　吉田　良恵

①　市立公民館　主事５年
②　海外旅行、ホームステイの受入れ
③　Ｈｅｘａｇｏｎ（高校生の息子が文化祭で組んだバンドです 笑）
④　物事を客観的に見れる人。考え方に柔軟性がある人。こんな人になりたいのですが…なかなか難しいです。
⑤　地域で親しまれる、ちょっと寄りたくなる公民館を目指しています。地域の活性化や生きがいづくりに貢献出来ればと思っています。